

# 常任委員会 所管事務調査報告

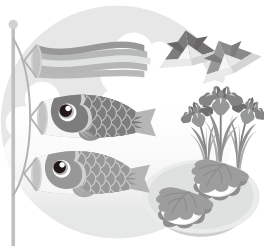
## 総務文教常任委員会

委員長 菊地清一郎

《1月19日(火)》

◆「(仮称)総合文化館の設計案等」について

平成30年オープンの(仮称)総合文化館の配置計画や展示計画の基本方針、交流ゾーンの活用方法等についての説明を求め、調査を行いました。



《2月2日(火)》

◆「NPO法人伊達メセナ協会」との意見交換会

「NPO法人伊達メセナ協会の自主事業について及び施設管理業務について」というテーマを設け、各自主事業や施設管理の状況等について意見交換を行いました。

## 産業民生常任委員会

委員長 小久保重孝

《1月22日(金)》

◆「廃棄物処理とリサイクルの現状」について

市環境衛生課からごみ排出量や再生資源物の回収量の推移及びその経費等について説明を求め、その現状について調査を行いました。

《2月10日(水)》

◆「伊達赤十字病院」との意見交換会

委員全員で伊達赤十字病院へ出向き、院長はじめ経営陣から経営状況や現在取り組んでいる活動について説明を受け、意見交換を行いました。

《3月9日(水)》

◆「伊達市観光物産館と市内商工業及び雇用状況」について

市商工観光課から伊達市観光物産館の状況や市内商工業の推移、雇用状況について説明を求め、調査を行いました。

◆「伊達市立つつじ保育所民営化計画(案)」について

ました。

◆「伊達市看護師等修学資金貸付制度の創設」について

市民部及び市保健センターから看護師等に係わる修学資金貸付制度創設の概要等について説明を求め調査を行いました。

市児童家庭課から公立保育所の民営化への取り組み状況や保育所の現状と課題等について説明を求め調査を行いました。



### 「(仮称)総合文化館の設計案等」の調査内容について

#### クローズアップ



配置計画は、旧シャミチセ川側の駐車場や宮尾登美子文学記念館からのアクセスがしやすいように、出入り口を2か所とし、歴史の杜を散策するように各施設の繋がりを持たせ、屋内・屋外・他施設が一連の学習体験ができる

ような計画である。

また、交流ゾーンは市民が様々な教育普及活動に参加できる空間とし「体験・レクチャーコーナー」などがあり、市民だけではなく修学旅行などの団体も受け入れる計画である。

今後の検討事項として、現在の駐車場は週末になると満車になることが多く、駐車場対策が求められること、修学旅行等団体への誘致活動の効果的なあり方が挙げられた。